

岩手県立視聴覚障がい者情報センターだより

タペストリー

Tapestry

45

2021.2.1



接遇講座

白杖についての講義中。熱心に聴講している受講者の皆さん。



関連記事は3ページ上段

手の向きに注意して、講師と一緒に手話の挨拶を学んでいます。



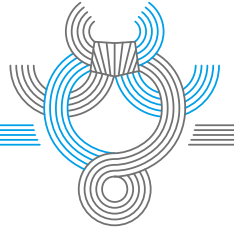
おいしい！

それいけ！くいしんぼ
～瓶ドンお取り寄せ～

手話と字幕の番組
「目で聴くテレビ」制作

関連記事は5ページ上段





新年のごあいさつ

所長 大芦洋悦

新年あけましておめでとうござい
ます。

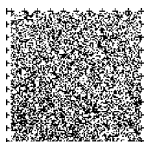
令和3年の新春に当たりまして、
新しい年が希望に満ちた一年になる
ことを心から望み、社会に安全・安
心がもたらされることを念願してや
みません。

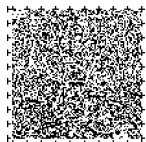
令和2年は、年初から新型コロナウイルス
ウィルス感染症が発生し、4月から
5月にかけては新型コロナ特措法に基
づく緊急事態宣言が発出されるとい
う事態に至りました。当センターの運
営もその影響を強く受けて、多くの
事業を令和2年度当初から中断や延
期しなければならなくなり、利用者、
関係者の皆様に大変な御心配をおか
けすることになってしまいました。

新型コロナウイルス感染症の第1
波が去り、6月から事業の再開を進
め、一部に中止のやむなきに至った
ものがあるものの、各種の養成講習
会は中止することなく実施し、予定
していたカリキュラムを年度内に終
えることができそうだと思っていた
ところに第3波といわれる状況に見
舞われ、本県でも多くの感染者が確
認される事態となっています。更に
1月7日には再び首都圏に緊急事態
宣言が発出されました。今後の事業
運営については、この事態に対応し
て取り組んでいく必要がありますの
で、利用者、関係者の皆様にはホー
ムページ等での情報発信に御注意い
ただきたいと存じます。

視聴覚に障がいのある方の文化・
教養の向上や情報保障の拡充のため
に、点訳、音訳等の各奉仕員、手話
通訳、要約筆記等の意思疎通支援者
の養成は大変重要な事業であり、コ
ロナ禍の状況にあっても進めて参り
ましたが、今後の事態の推移を見守
りながら、できるだけ予定通りに講
習日程を進めるべく努力したいと考
えています。

このような状況にあっても、感染
防止策を徹底して皆様に安心して御
利用いただけるよう職員一丸となっ
て取り組んで参りますので、本年も
当センターの運営に御理解、御協力
をいただきますようお願いし
申し上げます。





障がい者への誘導の仕方、ヘッドホンを装着し



障害物を避けながらの誘導体験中



用件を分かりやすく伝える書き方は…

当センター研修室において、視覚障がい者対応編を11月4日（水）に、聴覚障がい者対応編を11月20日（金）に開催しました。この講座は、当センターが入居しているアイーナや近隣のマリオス及び盛岡駅周辺で働く方々が参加し、障がいへの理解を深め、障がい者に対して適切な接遇ができるようになっていただくことを目的に開催したものです。4日は16名、20日は15名の方々にご参加いただき、視覚障がい・聴覚障がいについて

マスクをした状態での難聴疑似体験、筆談や手話のワンポイントレッスンなど簡単な実技を交えての講座となりました。また、日頃「質問シート」を準備して接遇している等職場での実際の取り組みを聞いたり、課題などを話し合うことで情報共有する良い機会となったようです。この講座を受講された方々に職場や日々の業務の中で役立てていただき、また日常生活場面でも障がいについて理解を深めていただければと思います。

令和2年度

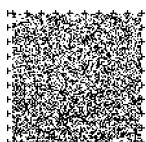
視聴覚障がい者対応接遇講座



上映前に司会者が手話通訳付きで話しています



大きな会場で席を離して鑑賞中



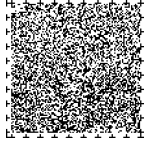
リアフリー映画会を開催していきたいと考えています。

11月29日（日）、バリアフリー映画会を開催しました。当センター主催、岩手県立図書館共催事業であり、今回は新型コロナウイルス感染症対策のためアイーナ804会議室での開催となりました。広い会場でソーシャルディスタンスをしっかりと取り、参加者の皆様には入場前の検温、消毒、マスクの着用にご協力いただき、対策を万全にしました。

上映作品は、直木賞作家中島京子原作の「長いお別れ」です。認知症を患い、ゆっくり記憶を失っていく父とその家族のお別れまでの7年間を描いた、心温まる作品です。初めてバリアフリー映画会に参加した方は、音声ガイドを体験し、驚いた様子でした。「音声ガイドがあることで、ただ観るだけでは気づかなかったことに気づくことができた」「もっとバリアフリーの作品が増えるといい」といった声をいただきました。今後も、障がいの有無にかかわらず、皆で楽しめるバ

バリアフリー映画会「長いお別れ」





コンパクト10スピーチ

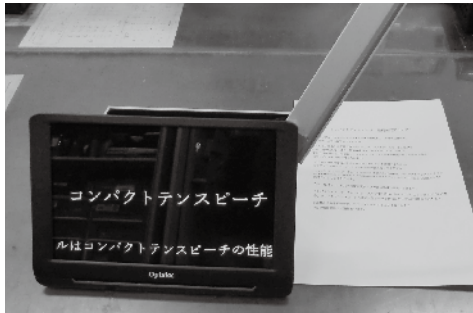
展示会

令和2年11月19日(木)～24日

(火)、標記展示会を行いました。例年、視覚部門では多数の業者をお呼びして情報機器展を開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、1組ずつの事前予約制としました。「コンパクト10スピーチ」は(株)システムギアビジョンから新発売された携帯型の拡大読書機で、音声読み上げ機能が付いている点が特徴です。読書

職員がゆっくりと説明しながらでき、利用者からも体験してみても感想や、ここがもっと改善してほしいという具体的なお話を聞くことができました。今年度は利用者の方々との交流の機会も減ってしまいました。が、久しぶりにお会いする方もいて貴重な機会となりました。皆さんのニーズを聞きながら、今後も企画を検討していきたいと思っています。

モードや読上げモードで本を読んだり、新聞やちらしを拡大したり、遠方モードで遠くの掲示物を眺めてみるなどの体験をしていただきました。



白黒反転の表示です



読上げモードを体験しています



令和2年度身体障がい者パソコンサポーター養成講習会Ⅱ期を11月7、8、12、13日に当センター映写室で開催しました。

講習内容はサポートに必要な法律、支援体制、視覚と肢体の障がいの特性、サポートの心構えやガイド方法、障がいの特性にあったWindowsやソフトの設定と2人一組で一人が画面をみないで、別の一人のガイドでパソコンを操作する実習を行いました。受講者3名全員が講習を修了して、身体障がい者パソコンサポーターの登録をし、1期と合わせて6名の身体障がい者パソコンサポーターが誕生しました。



当センター点字図書館部門の図書製作を支えてくださっている奉仕員の方々の、表彰が決定いたしました。

おひとりおひとりの奉仕に、心から感謝申し上げます。

表彰を受けられたのは次の方々です。(敬称略)

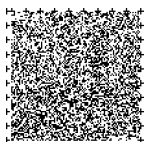
◆ボランティア功労者厚生労働大臣表彰
吉田 貴美 (点訳奉仕員)

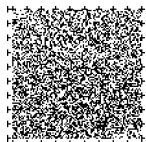
◆岩手県知事表彰
道又 百合子(音訳奉仕員)

野崎 明美 (音訳奉仕員)

◆鉄道弘済会朗読録音奉仕全国表彰
田中 淳 (デジタル録音図書編集奉仕員)

神 厚子 (音訳奉仕員)





障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」とは聴覚障がい者のための放送局です。全国各地の番組などを手話・字幕付きで放送しています。聴覚障がい者向けDVDの制作を行っています。全国各地の聴覚障害者情報提供施設が同局に対して番組制作協力を行っています。当センターも協力しています。

今回提供したのは、「宮古市の体験型ゲーム『瓶ドン』をお取り寄せ」です。今回初めて現地には行かず、リモートで打ち合わせや撮影を行いました。牛乳瓶に入った宮古の旬の食材をホカホカのご飯に丸ごとかけて食べる！口の中に入れた瞬間「しあわせ」がこみあげてきます。コロナ禍の中、遠出は難しいけど…美味しいものが食べたい！という方に美味いお取り寄せをご紹介します！



自主制作ビデオ完成!!

要約筆記者養成講習会

スタート



11月21日、令和2年度要約筆記者養成講習会がスタートしました。当初は8月開講予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で3か月遅れのスタートとなりました。

手書きコース9名、パソコンコース9名、あわせて18名の受講者を迎え、開講式を行いました。開講式では若手県中途失聴・難聴者協会の畠山修理理事長より、要約筆記者の重要性、Aーなどの技術が進歩するなか、「心」をもつ人間でなければ果たせない役割について、お話をいただきました。

初日は新型コロナウイルス感染症対策の一環として、講師はWeb会議システム「Zoom」を利用して、遠隔での講義を行いました。

令和3年12月までの1年

1か月間、計26回の講座と長丁場になりますが、感染対策に十分留意し、要約筆記者の養成に努めてまいります。



全要研講師の講義をZoomで受講



理事長のご挨拶

移動ライブラリー

盛岡聴覚支援学校
一関清明支援学校で開催

11月11日は盛岡聴覚支援学校へ、11月26日は一関清明支援学校へ移動ライブラリーがおじゃまいたしました。

盛岡聴覚支援学校は小学部ホールでライブラリー説明会とDVD貸出を行いました。

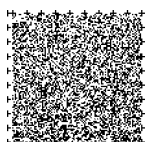
一関清明支援学校は図書室で、小学部は「動物の赤ちゃん大集合」を、幼稚部は「僕はなかつぱ」を上映し、楽しく鑑賞していただきました。情報センターにはたくさんの字幕(手話)入り作品があります。その中から250本程のDVDをお持ちしました。貸出コーナーで作品を選ぶ児童たちの笑顔で会場いっぱい賑わっていました。



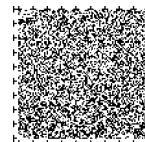
一関清明支援学校の児童



盛岡聴覚支援学校の児童



「タペストリー」は当センターホームページからでもご覧になれます。



全 体

年度末の図書貸出等の停止について

3月25日(木)～3月30日(火)

年度末の資料整理及び点検のため、点字・録音図書、DVD、情報機器の貸出等のサービスを停止いたします。この期間は視覚部門閲覧室への入室ができません。録音室、研修室等の施設利用は可能です。

また、3月31日(水)はセンター休館日です。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

聴覚部門

施設利用の一部制限について

2月20日(土)17時～

21日(日)17時まで

「令和2年度岩手県要約筆記者登録試験」実施のため、聴覚部門内フロア全室がご利用いただけません。

ご不便をおかけしますがご理解ご協力をお願いいたします。

職場研修 「アイーナ止水板設置訓練」

アイーナは盛岡市防災マップでは5m～10m未満の浸水が予想されており、万が一に備え止水板が設置されています。そこで、10月の職場研修はアイーナの施設管理者の方のご指導のもと、当センターが設置担当となるエリアで、止水板設置を行いました。器具の使い方、資材の運び方を体験し、安全に素早く設置できるよう確認することが出来ました。



止水板を2人一組で枠にはめ込んでいます

止水板設置完了です。130cmほどの高さになりました



職員

エッセイ de リレー

「拍手の音」

点字校正員 佐賀 善司

パーティやセレモニーには付き物の拍手。視覚障がい者は、拍手の音で会場の広さや参集者のおおよその数、自分が会場のどの辺りにいるかがわかる。MCの紹介の後やや間を置いて拍手が起これば「ゲストが登壇して一礼したんだな」と見当がつくし、賞状の朗読に続く拍手はご褒美が受賞者に手渡されたことを示すから、自分も手をたたいて賛辞を送ることができる。

聴覚障がいの人がたくさん参加する集まりに出たとき、拍手の音がなくて面食らったことがある。(手話の拍手は掌を打ち合わせませんよね)「音が頼りの人間もいるのに…」とも思ったけれど、翻って聞こえる者は、聴こえない人に思いを伝える自前の手段をもっているだろうか？通訳者が手話や要約筆記で表現しやすい話し方を心掛けているだろうか？と考えてしまった。

(次回は野中信子情報支援員にバトンタッチ)

発行／岩手県立視聴覚障がい者情報センター

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 いわて県民情報交流センター(アイーナ) 4F

TEL・019-606-1743 FAX・019-606-1744 Email・iwatesan@aiina.jp

URL・<http://www.aiina.jp/facility/sityoukaku/sityoukaku.html>

次回 令和3年5月20日発行予定

「タペストリー」とは

皆で持ち味や個性を織り糸にして、創りあげるセンター、との願いです。感想・ご意見などありましたら、お寄せ下さい。

